

12月定例会

●会期 12月5日～12月14日(10日間)

市内小中学校に冷房設備設置予算などを可決

今回は
市長提出議案 22件
請願 1件
報告 1件



12月定例会議案採決

【議案第1号】 八幡平市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例及び八幡平市行政組織条例の一部を改正する条例

文化財の保護事務 市長部局に移管

文化財保護法などの改正により、教育委員会所管とされている文化財保護の事務を市長部局で担当できることになったため、条例改正するものです。

Q 過疎化、少子高齢化などにより、文化財の保護と活用が課題となっている。市長部局に移管後の文化財の活用策を、どう考えているか。
A 条例改正について、地域振興協議会からも要望があった。県教委にも相談したが、地区コミセンと連携を深め、文化財行政にまい進する。



佐比内の山の神
(市指定有形文化財)

【議案第3号】 八幡平市長寿祝金条例の一部を改正する条例

100歳長寿祝金 10万円を3万円に

平成26年度の市の100歳到達者は5人。29年度は16人で、今後増加が予測されている。県内市町村の例を勘案し、100歳長寿祝金を10万円から3万円に改定し、八幡平市共通商品券で支給しようとするものです。

Q 10万円の長寿祝金は、県内でも誇れる施策であり、敬老精神を高めるためにも現行で継続するべきである。
A 県内市で10万円支給は、当市と久慈市だけ。滝沢市では、支給していない。敬老精神は尊重するが、市の高齢者推移と県内支給状況を見て改正するものである。
Q 4月1日から7割削減し、3万円とすることは、性急ではないか。
A 社会情勢や全体像を見直し、来年度から新たな高齢者福祉の施策を検討している。

【議案第7号】 平成30年度八幡平市一般会計補正予算(第5号)

1億6920万円 減額の補正予算

歳入、歳出それぞれ1億6920万円9千円を減額し、総額231億3995万3千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼私立保育所整備事業 1億2891万3千円(減額)
- ▼観光振興対策事業 1299万4千円(減額)
- ▼観光客誘致対策事業 2649万2千円(減額)
- ▼都市計画道路大更駅前線整備事業 3653万円(減額)
- ▼八幡平市中学校体育連盟補助金 289万2千円

Q 待機児童数と必要な保育士は同名か。保育士確保のための事業変更の内容を伺う。
A 待機児童数は26名で、保育士は9名必要である。宿舍借り上げ補助をやめ、新規採用の保育士に月額1万円の補助金を3年間支給する。



西根総合支所前の市立図書館

Q 畑スマートインターチェンジの整備可能性調査の、今年度の内容を伺う。
A 年度内に2回目の検討会を開く予定で、国の理解を得るために、必要性の具体的な内容整備に努力している。
Q 図書館協議会委員報酬および費用弁償の、追加予算について内容を伺う。
A 大更駅前建設予定されている市立図書館移設について、そのあるべき姿を検討していくことになった。そのため、委員報酬および費用弁償の追加予算である。



中渡工場整備予定地

Q 企業誘致対策費の中渡工場適地造成工事の予算が、3500万円減額になっているが、その内容を伺う。
A 市内の食料品製造業者から、当該用地は場所的にも良好で、受注を増産させるためにも、この工場用地を自社で購入し、自社で造成したいと要望があった。そのため減額である。市はその業者と、工場の立地を進めるために協議を行っている。

【議案第19号】 平成30年度八幡平市一般会計補正予算(第6号)

冷房設備設置費など増額の補正予算

歳入、歳出それぞれ7億9094万2千円を増額し、総額239億3089万5千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼農地防災ダム管理事業 742万6千円
- ▼小学校冷房設備設置工事(設計・監理)委託料 3997万5千円
- ▼小学校冷房設備設置工事請負費 4億6630万9千円
- ▼中学校冷房設備設置工事(設計・監理)委託料 2086万4千円
- ▼中学校冷房設備設置工事請負費 2億4905万2千円

なお、この主な歳出については、いずれも平成30年度末までに事業完了が見込めないことから、計上予算のうち、平成30年度で支出する予算以外の予算について、平成31年度に繰り越して事業を実施しようとするものです。

【請願第4号】 消費税10%増税の中止を求める請願書

消費税10%増税を中止の請願不採択

消費税10%増税の中止を求める内容です（請願者：岩手県消費税率廃止各界連絡会代表・関沢浄、紹介議員：高橋光幸、高橋悦郎、関善次郎）。

■総務常任委員会が審査

▼委員会の審査結果 採択すべきものと決定（消費税は、急激に進む少子高齢化社会にあつて、子育て、介護などの社会保障の充実のために必要な財源ではあるが、依然として個人消費の低迷が続いており、税率引き上げによる、景気のさらなる冷え込みを招きかねず、住民のくらし、地域経済への影響が懸念される。また、軽減税率導入による混乱も危惧されるため、制度の説明や、周知徹底を十分に行う必要がある、来年10月の引き上げは時期尚早と考える。）

【反対討論】 田村善男議員

増税にはいろいろな意見がある

が、2012年3月に3党合意に基づき、2015年10月から10%に引き上げる法律が成立している。特定の者に負担が集中せず、働いている人、働いていない人、高齢者を含め、世の中の全員で広く負担する消費税が、高齢化社会における社会保障財源にふさわしいことから反対する。

【賛成討論】 米田定男議員

これまでの消費税収入総額は約372兆円、同期間に減額された法人税は約291兆円である。消費税増税分のほとんどが、法人税減税の穴埋め分になった。一方で、大企業の内部留保は約443兆円にまで達した。税制度の本来の趣旨は、所得の再分配にある。現状はそれに逆行し、10%への増税は拍車を掛けることから賛成する。

▼本会議議決結果 12月7日に開催した総務常任委員会では、賛成多数で「採択」すべきものと決定しましたが、12月14日の本会議では、賛成少数で「不採択」とすることに決定しました。これに伴い、総務常任委員長から、提出していた意見書（委員会発議案）取り下げの申し出があり、議長がこれを許可しました。

平成30年第4回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名 (会派名)																			議決結果	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
八幡平市長寿祝金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
消費税10%増税の中止を求める請願書	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※賛成=○、反対=● 工藤剛議長は採決に加わりません

一般質問

9人が市政を問う

井上 辰男 議員 (八起会)………07

- ・公共施設などの老朽化問題および利活用について
- ・超高齢化社会への対応について
- ・危機管理意識の共有について

関 治人 議員 (八起会)………08

- ・特定不妊治療助成金について
- ・スマートインターチェンジについて

渡辺 義光 議員 (市民クラブ)………08

- ・新市立病院周辺の環境整備について
- ・事務ミスを防ぐ組織の改善について

立花 安文 議員 (八起会)………09

- ・鳥獣害対策について
- ・あしろ保育園の定員数の拡大について
- ・(仮称)八幡平市山間過疎地域振興条例の制定について

北口 功 議員 (無会派)………10

- ・森林経営管理法の成立に伴う八幡平市の取り組みについて
- ・八幡平市における風疹対策について
- ・八幡平温泉郷における街灯整備の取り組みについて
- ・市道、下水道工事の未着工事業について

熊澤 博 議員 (自由クラブ)………10

- ・学校給食の在り方について
- ・雑穀生産の振興について

高橋 悦郎 議員 (日本共産党)………11

- ・八幡平市人口ビジョンおよびまち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ・公立学校へのエアコン設置について
- ・国民健康保険について

小野寺昭一 議員 (八起会)………12

- ・県立高等学校再編計画について
- ・スポーツ振興について

米田 定男 議員 (日本共産党)………12

- ・学校給食について
- ・空き家対策について
- ・統合保育所建設に関わる道路整備について



井上辰男 議員 (八起会)

問 公共施設の経年劣化も相当進んでいると予測される。管理計画策定期間では、市長 個別の管理計画策定に向けた素案の作成に取り組んでいる。

問 人口減少や、少子高齢化に伴う市営住宅の長寿命化計画の見直しが必要では

市長 平成32年度に計画見直しを予定。現計画の検証および課題を整理している。

問 西根総合支所の活用で、その後の協議内容を伺う。

副市長 JAから支所を集約化する方向で打診があった。市は、無償譲渡、職員用駐車場は有償譲渡で提案

公共施設の老朽化問題

計画的な改修・解体

し、現在、JAが市の提案内容について検討している。

問 超高齢化社会が進み、社会保障など、将来を見据えた方策が必要ではないか。

市長 介護予防事業を行い

高齢者スポーツ 新たな方策

ながら、介護給付費増加の抑制に努めていく。

問 高齢者が楽しめるスポーツ施設の充実の考えは。

市長 維持管理費、市財政の見直しなどを動かし、総合的に判断していく。

問 松尾総合運動公園にパークゴルフ場を併設した



西根相撲練習場 (築48年)

複合施設にできないか伺う。地域振興課長 管理上、現在の体制では困難である。

問 近隣市町から交流人口が増加し、経済効果が高いと思うが見解を伺う。

副市長 体育協会や、現状の利用状況を聴取した上で判断していきたい。



せき ひろと 議員 (八起会)

安比にS・I・C設置要望 整備計画検討会を開催



鹿角市の緊急流入路

問 畑スマートインターチェンジ可能性調査について進捗状況を伺う。
市長 市、国交省岩手河川国道事務所、ネクスコ東日本、県、県警により、第1回整備検討会が開催された。必要性や、設置などを整理し、次のステップとなる「国

による可能性調査」の採択に取り組んでいく。
問 設置場所は、今後観光客の伸びが予想され、費用対効果の高い安比エリアに設置するべきである。
市長 現在、設置場所は特定していないが、安比エリア付近も検討箇所に加えていく。

特定不妊治療助成
問 特定不妊治療助成金の引き上げの要望に対し、進捗状況を伺う。
市長 高額な医療費を要し負担が大きいことから、国の動向を見極め、助成の在り方を検討していく。



わたなべ よしみつ 議員 (市民クラブ)

平成32年3月新病院完成 市道、踏切など順次整備



着々と進む新市立病院建設

問 新市立病院は、平成32年3月19日に竣工予定で建設工事が進められている。31年度は新病院開設に向けて、周辺の道路や踏切改良など総合的な整備と、集中した予算措置が必要と考える。次年度の予算概要と、具体的な整備計画を伺う。
市長 新病院開設に向け周辺の市道大更中央線、駅東線、山子沢線などの舗装や改良工事を実施している。夏間木踏切は、31年度に整備予定である。松子踏切は、駅東側の事業進捗状況に合わせて市道松子線と一体的な改良整備を計画している。

問 近年、集中豪雨で周辺地域の用排水が増水し濁流も顕著で、床下浸水もある。現場調査と検証を望む。
市長 病院建設や道路整備で舗装面が多くなり集中的な増水が予測される。駅東側周辺の用排水路の系統や、水路断面の調査を検討する。
誤りやミスの訂正
問 9月定例会で指摘した八幡平市総合計画や各種計画書記載の大更駅利用者数には、数年間降車人員が含まれていない。数値誤りである。早急に訂正し、市民や議会に弁明すべきである。

市長 担当者、課長、副市長まで、ミスや手違いのないよう、しっかりと確認する。
問 現在進行中の計画書であり、事務執行や市民活動に影響を及ぼす問題である。
副市長 諸計画書に17件の誤記載があった。心からお詫びし、早急に対応する。



たちばなやすふみ 議員 (八起会)

あしる保育園の定員拡大 現状の定員で支障はない



10月から3歳児以上保育料無料

問 あしる保育園の定員数50名は、荒沢地域の児童数から見て適正か。
市長 荒沢地域の就学前の児童数は90人ほどである。畑保育園の定員数が12名で、合計62名の定員数である。90人中、保育園を利用しない当市の割合は2割

(18人)で、72名の入園が見込まれる。制度上、定員の120% (74名) まで入園することができるところから、定員数は現状で支障がない。
問 年度途中、実家などに子ども連れでリターンして来る方がいる。この児童数は、予測しないのか。
市長 特段予測しない。鳥獣捕獲応援隊を設置し負担軽減を
問 荒沢地域には、猟友会員が3人しかいない。猟友会の過度な有害鳥獣捕獲業務の負担を軽減するため

に、狩猟免許がなくてもワナの見回りや再設置ができる捕獲応援隊を設置してはどうか。
市長 市猟友会の意見を聞いて検討したい。
問 赤外線センサー付きの箱ワナを導入してはどうか。
市長 1台程度の試験的な導入について、市猟友会の意見を聞いて検討したい。
問 市内の二ホンジカや、イノシシの生息状況を伺う。
市長 国、県が調査している。平成29年度の二ホンジカの捕獲実績は42頭、イノシシの捕獲実績はない。



北口 功 議員 (無会派)

森林経営管理法スタート

市実情に合った取り組み

問 新年度スタートする森林経営管理法(森林バンク)は、森林の有効活用と林業振興に役立ち、小規模所有者や市内に不在の方にもメリットがあると考えます。今後の取り組みについて伺う。

風疹への対策の取り組み

市長 今後、示される事務の手引きを確認し、本市の実情に合った同法に対する対応や、市独自の取り組みを検討していきたい。

市長 女性と子どもに、定期予防接種を実施している。また、風疹の抗体価が低い妊婦の配偶者も、無料で抗体検査が受けられる事業を行っている。

市長 八幡平温泉郷の、住宅周辺の街路灯整備について伺う。

市長 温泉郷における街路灯の整備は、現地調査や関係機関との調整、地元住民の意見も伺い、検討していきたい。



持ち主がいなく放置された森林

市道中田野駄森線整備計画

問 市道中田野駄森線の、今後の計画について伺う。

市長 市道整備計画との整合を図り、アクセス道路などを検討しながら進めていきたい。



熊澤 博 議員 (自由クラブ)

理想とする「完全給食」

「ご飯弁当」持参方式



ご飯弁当持参の学校給食

問 現行の学校給食は、親子のふれあいを深める「ご飯弁当」持参の主食と、給食センターが作る豪華な副食による、理想的な「完全給食」である。児童虐待におけるネグレクト(育児放棄)を許さず、「子ども食堂」の必要もない、八幡平方式

の「完全給食」を、県内はもとより全国に発信するため、以下について伺う。学校給食の栄養量が摂取基準に達せずの報道があったが、内容を伺う。

影響を及ぼすことはない。平館高校への給食 今春、平館高校の生徒が医大に合格するなど、給食の効果が現れてきている。地元高校にも学校給食を提

供する考えはないか伺う。

教育長 平館高校は、礼節や学業などに大変素晴らしい成果を挙げている。学校給食の提供は、高校存続に向けた支援策の一環として、有効な施策と想料される。要望があれば学校側とともに検討していく。

問 雑穀の生産量と売上、生産振興の在り方を伺う。

市長 寺田地区特産品組合における平成29・30年の2年間で、雑穀の出荷実績は、4467キログラム(42%)、471万6190円である。生産量と所得の向上につながる施策を実施していきたい。

雑穀生産の振興



高橋悦郎 議員 (日本共産党)

市の人口減少は著しい

新しい施策などで努力

問 市の人口推移は、市が定めた将来人口目標より、大きく減少している。人口減少を食い止める各施策の見直しが必要だ。

企画財政課長 予算編成時には、人口減少対策の足りない事業に、新しい施策を講ずるよう、各課に繰り返し

し求めている。 問 将来人口目標を推進するための、庁内推進会議や有識者会議が、1年半も開催されていないのは問題だ。企画財政課長 有識者会議は、今年度中に開催する。

市道中田野駄森線の整備計画



人口減少に歯止めを掛ける計画書

市道中田野駄森線の整備計画

市道中田野駄森線の整備計画

市道中田野駄森線の整備計画

市道中田野駄森線の整備計画

市道中田野駄森線の整備計画

市道中田野駄森線の整備計画

市道中田野駄森線の整備計画

市道中田野駄森線の整備計画



おの であらしょういち
小野寺昭一 議員
(八起会)

平館高等学校1学級減

入学希望者増に努める



平館高校創立70周年記念式典

問 2019年度、県教委の高校再編案では、平館高校など7校を1学級減とし、葛巻高校など4校の学級減は見送る方針が示された。平館高校普通科が、1学級減になった場合の対応について伺う。

1学級減の決定は、地域に非常に大きな危機感を与えていると感じている。卒業生の多くが地元就職し、活躍しており、地域の発展には、地元の高校が必要と考えている。市は、平成29年度から新たに、大学進学希望者を対象とした外部教

師による特別課外授業を行う進学対策支援を行っており、国立大学への入学希望者も増えていくものと期待している。これまで以上に、平館高校ならではの特色ある取り組みを市内の中学生や保護者などに情報を提供し、入学希望者の増

加に努める。

ノルディック競技選手・指導者充実

市長 選手育成や指導者の充実には、一朝一夕にできるものではない。ジャンプ競技の魅力を発信し、どうすれば小林選手や永井選手に続く、未来のオリンピック選手を育成できるか、関係団体と知恵を出し合い、考えていかなければならない。

問 八幡平市のスキージャンプの選手や指導者が、少ないと思われる。選手育成と、指導者の充実について、見解を伺う。



またさだお
米田定男 議員
(日本共産党)

統合保育所と道路の安全

状況を見て整備を検討



保育所建設予定地に接する交差点

問 統合保育所建設予定地に接する道路について、「交通安全上極めて問題あり」との住民の声が強くある。保育所建設と合わせて、交通安全対策としての道路整備が必要と判断する。

建設課長 朝夕100台程度の送迎が想定される。それらがどのルートを通るのかなどの状況を見ながら整備を検討する。また、交差点の優先表示などについては、順次検討する。

空き家対策の進捗

問 空き家対策について、緊急に対策が必要なのは特定空家である。これらについて、何らかの手立てを行う条件は進んでいるのか。

防災安全課長 約600件の空き家のうち、特定空家の候補は136件だが、まだ特定空家として認定はしていない。認定されないと、条例に基づいた作業は進まない。

完全給食の実施

問 今、政治が正面から向き合ふべき課題は貧困であり、学校給食もその視点が必要である。全国約2千数百カ所、子ども食堂が展開されている。これらはさまざまな形の形態があるが、少なくとも学校給食においては、必要な食事、栄養が摂取されているという前提のもとに成り立っている。ここにも、完全給食実施の意義がある。

教育総務課長 今の方式でも十分という認識である。

議会の動き

(10月16日～1月25日)

10月

- ▶16日 議会運営委員会所管事務調査 (～18日)
- ▶17日 福島県喜多方市議会会派視察来庁、新潟県佐渡市議会会派視察来庁
- ▶20日 平成30年度六市議会議員協議会スポーツ交流大会
- ▶22日 議会広聴広報常任委員会所管事務調査 (～24日)
- ▶25日 全国過疎問題シンポジウム2018 in やまぐち (～26日)
- ▶29日 平成30年盛岡北部行政事務組合議会第2回定例会
- ▶30日 平成30年盛岡地区広域消防組合議会10月定例会、議会広聴広報常任委員会

11月

- ▶8日 議会広聴広報常任委員会
- ▶12日 松西会・自由クラブ・工藤直道・会派議員研修 (～14日)
- ▶14日 教育民生常任委員会協議会
- ▶19日 平成30年度岩手県市議会議員研修会、盛岡地区広域消防組合研修 (～21日)
- ▶20日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会、平成30年11月岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- ▶22日 議員全員協議会、議会運営委員会、議会広聴広報常任委員会
- ▶24日 平成30年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」 (～25日)
- ▶28日 議会運営委員会

12月

- ▶5日 議会運営委員会、平成30年第4回定例会 (～14日)、議会広聴広報常任委員会
- ▶7日 総務常任委員会
- ▶10日 議会改革推進会議
- ▶12日 議会運営委員会
- ▶14日 総務常任委員会、委員会・会派・視察研修報告会、議会運営委員会
- ▶26日 議会広聴広報常任委員会

1月

- ▶10日 議会広聴広報常任委員会
- ▶23日 議会広聴広報常任委員会